

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゼロカーボン茅野
事業主体 (連絡先)	茅野市地球温暖化対策地域協議会 茅野市塚原二丁目6番1号 茅野市役所 環境課内
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	547,999円 (うち支援金: 437,000円)

事業内容

日常生活における市民レベルでの省エネ、脱炭素に向けた取組を普及啓発するため、市内で優れた環境取組や地域の現実的な課題にスポットを当て、また、東海大学付属諏訪高等学校科学部との連携を図り、子どもから大人まで幅広い世代への意識喚起を行った。

- ・グリーンカーテンづくり：
 - カ) 5月～8月 東海大諏訪高
- ・イベント開催
 - ア) 7月24日 市民活動センター 30名参加
 - イ) 10月23日 茅野市役所8階大ホール 14名参加
 - エ) 11月13日 諏訪南リサイクルセンター 33名参加
 - オ) 12月5日 茅野市役所8階大ホール 16名参加
- ・パネル展出演：
 - ウ) 8月16日～25日 茅野市役所8階大ホール
- ・エコレポートの発行：
 - キ) 3月 市内回覧、小～高校、公共施設へ配布



【 12月5日イベントの様子 】

【目標・ねらい】

- ①若い世代(東海大諏訪高)との協働を通じた幅広い世代への意識喚起
- ②市内の優れた環境取組、課題等の学習、参加者同士の意見交換を通じた意識喚起

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①各イベントにおいて、東海大諏訪高科学部の皆さんに司会・進行をしてもらったり、グリーンカーテンづくりについて研究成果をエコレポートにまとめてもらい、市内回覧等で幅広い世代に取組を見てもらえた。
- ②イベント参加者から、様々な世代とのグループトークを通じて、新しい気づきや刺激を受けた、友人などにリサイクルについて教えたい、自分がやっていることを共有することをしていきたいなどの反響をいただいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

活動を継続させるため、引き続き東海大諏訪高との協働し、温暖化対策の取組啓発と次世代の環境取組のリーダー育成につなげる。また、講演会とグループトークのイベントを開催し、引き続き意見交換の場を設け、脱炭素社会の実現に向けて自分事として考える機会をつくる。

また、屋外での体験型イベントを実施し、日常生活でできる省エネ取組を体験・体感することを通じて参加者がイベントで知った省エネ取組を日常生活へ取り入れることへつなげたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・イベント(ア、エ) 定員以上の申込みがあった。
- ・イベント(オ)のグループトークの参加者の満足度が90%だった。
- ・令和4年度も若い世代(東海大諏訪高科学部)との協働をしていけることになった。